

マルセイニュース 6月号

発行日 2019/6/21

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 Tel.0146-22-5123



6月3日(月) さんま棒受け網漁船「第八十一宝輝丸」竣工式 新造船のお披露目で活気づいた浦河港



たくさんの大漁旗で飾られた新造船は青空に映えて美しかったです。こんなチャンスはめったにないので、船の反対側に飾られていた大漁旗も見なかったなあ…。 マックス

6月3日(月)、晴天に恵まれた浦河港で新造船が披露されました。お祝いに贈られた50枚以上の大漁旗を掲げた華やかで美しい姿のお披露目です。船体の長さが約24メートルもある船を見て、先ずは、「大きいなあ!」と港に集まった関係者や地域住民の人は驚いていました。

「第八十一宝輝丸」(49ト、乗組員11人)と名付けられたこの船は、荻伏のマルセイ浦川漁業さんが使用するさんま棒受け網漁船です。国の補助を受けて、サンマやサバ、イワシ漁などに必要な最新装置が搭載されたアルミ合金製のこの船の建造費はなんと5億5千万円! 安全操業と豊漁が祈られた後、祝いのもちまきには3百人ほどの人で賑わっていました。



今年も年に一度の勉強会で高崎市へ 6月4・5・6日

『快労祭』に行ってきました

年に一度の経営者仲間の集まりに行ってきました。今年で19回目の開催でした。一人一人が一年間の取り組みの成果や困難を報告するのですが、わたしはこれを楽しみにしています。今年は、なかでも印象深かったKさんのお話をご紹介します。

「そつじを通じた企業改革」のコンサルト Kさんの報告

Kさんは40代後半で、企業の環境整備改善のコンサルティングをされています。ひらたく言うとうそじをきっかけとして会社が良い方へ変わっていくお手伝いを仕事にしている方です。会社をきれいにすることは事業の生産性や効率があるばかりでなく、職場の人間関係がよくなったり、お客様へ提供する製品やサービスの質が向上していきます。

高校時代は柔道と勉強に励み一流大学へ進学したKさんは、誰もが知る一流企業へ入社。本気で勤務していました。40才を前にあっさり退職して自ら起業したのです。事業が軌道に乗る前の苦しいときは、英語の翻訳のアルバイトなどもして生活を支えました。英語力は海外留学をしたわけではなく、コツコツと独学で学び英検一級を取得したそうです。現在は顧客の信頼も厚く会社は順調で、多忙な毎日を送られています。

他人からすると完璧に見えるKさんですが、彼の今年の報告は少々意表を突

くものでした。

「昨年のあるときから眠れなくなりました。それも極度の不眠症です。仕事で疲れているのに眠れない。ときには何日間も一睡もできなくて苦しい日々が半年ほども続いて、倒れて夜中に病院に運ばれたこともありました。」

経営は順調でも 極度の不眠の日々に

「事業の話ではありませんが、これが今回のわたしの報告です。」と、辛い不眠に悩み苦しんだ体験を話してくれたのです。

あるとき人に勧められて、ある人に会いに行つたそうです。そのとき、Kさんはその人から自分を肯定することを教えられたと言います。ここまで十分頑張ってきたじゃないかと自分に言ってみる。頑張れなくてもオレはオレだと考える。誰からもなにか言われる筋合いのことじゃない。自分で自分のことを低く見積もらないし、人の評価も気にしないことにしよう..。

こんなメッセージを受け取りそれから数ヶ月経つた現在、Kさんの不眠症は随分よくなったそうです。

今回の集まりにはKさんの顧客にあたる仲間や勉強会の後輩も参加していましたが、この若手の人たちからは、「ミスター・パーフェクト」とも呼ばれていたKさん。今年も順風満帆な事業の報告なんだろうと思つていた私や仲間には、今回のKさんの話は少なからぬ驚きでした。と同時に、深い共感が生まれました。

仲間がいることは 幸せなことですよ

Kさんがそうだったように、「今より頑張らないと自分をほめることなんてできない」という気持ちを抱えている人は意外と多いのではないのでしょうか。Kさんの勇気ある報告にわたしは勇気づけられました。経営者として共に学ぶ集まりなのですが、こういう悩みや苦労も率直に話しあえる仲間がいることは幸せなことです。あらためて感謝の気持ちで湧いてきました。

社長



還暦組夫婦が受講してきました

5月29日 (水) 札幌市

産廃の収集・運搬事業の免許更新には欠かせない受講とあって、社長とマックスが産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会を受講してきました。社長は4回、マックスも3回目の受講です。

丸一日の座学受講で気になるのが座席です。最前列になるようにと、タイミングを見計らって受講申し込みの手続きを試みたりするのが、いたずら好きなばわふるさ



ん。つい最近も社長が大当たりしたばかり！別の講習で講師の正面、最前列で受講してきたばかりでした。さて、今回はどこかなど会場へ。セーフ！二人とも会場の真ん中くらいの席でした。フフ・良かった。(笑)

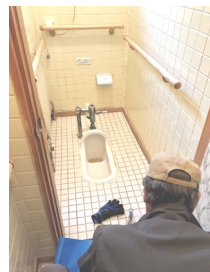
トイレの便座交換工事

和式から洋式へ

わが家の便座の交換工事をチームマルセイに依頼しました。亡き父の希望があつてあえて和式のままで使用していましたが、いくら手すりがあつても、膝の悪い母が使い続けるにはかなり辛くなつていました。

毎日何度も使用するトイレが快適になつたのはうれしいです。チームマルセイありがとう！

マックス





まずは、お気軽にご相談ください 交換設置工事もバッチリ！

今月は、工事の依頼にお応えすることが多い月でした。石油給湯ボイラーの交換をはじめ、ビルトインコンロ、レンジフード、トイレの便器の交換などをさせていただきます。ありがとうございます！

最新コンロのグリルは お手入れが簡単



ビルトインコンロは、台所に直接組みこまれていて見た目もすっきり。素敵なデザインが魅力です。もちろん便利な機能も揃っています。今回は、10数年使用したビルトインコンロの交換をお客様からご相談いただきました。

メーカーもデザインも数ある中から、お客様は今回も3口のコンロをお選びでした。3口タイプは同時調理ができるので料理のスピードが速く、料理途中の鍋を置くスペースとしても利用できるの便利です。

最近の自動調理機能はより便利に。鍋の温度を感じするのでうっかり火を消し忘れたときでも安心。火災を防いでくれる自動消火機能のお世話になったことはありませんか？（マックスはたびたびあります・）

そうそう。魚焼きグリルは掃除が大変で臭いも充満すると思っ
てはいませんか？最近のビルトインガスコンロは、二オイや煙が軽減さ

れる工夫をはじめ、焼き網もコーティングが施されてお手入れがしやすくなっています。機能が充実して便利になっているので、新しいコンロになったお客様はうれしいでしょうね。

石油給湯器の 交換工事



給湯機の交換設置工事もありました。最近、「社長、若い人が増えてうらやましいですね。」と声を掛けられることが増えました。若者たちが、ベテランの鈴木さんの指導を受けながら経験を重ねて技術を積み上げています。これからが楽しみな若者たちです！



給湯給水配管の工事中に真剣に取り組んでいる圭佑くん。技術を自分のものにしようと積極的に仕事をしています。



「高所作業車」の助けがあって実現！ 高い木の枝落としができました

ご相談いただいた木は高さが問題でした。“手のこ”の作業で可能な木でしたが、今回は(株)武田電気さんから高所作業車を出動していただくことになって実現♪ご相談いただいたお客様からも大変喜んでいただきました。良かった～！

庭周りもスッキリ
お客様から
喜んでもらいました



大きくなって困っている樹木のご相談は以前からとさきどきありました。幹が太すぎたり、高さがある木は当社では無理なのでお断りすることが多いです。でも、今回のご相談は高さだけが問題でした。

入社して早くも半年が経つムトちゃん、武田電気さんから高所作業車を手配して高さの問題を解決。電線に届きそうになっていた木の枝を無事に落とすことができました。

処分できずに置いてあった片付けたかったモノも、このとき枝木と一緒に搬出処分。お客様からは「庭がさっぱりと片付いた」と大変喜んでいただきました。お役に立てて良かったです♪



堀直人さんを囲む会

6月7日（金）総合文化会館団体活動室

この春、江別市長選挙に立候補された堀直人さんを囲む会を開きました。まったくの無党派新人、38才の候補ということで選挙後テレビの特集番組も放送されました。惜しくも当選とはなりませんでした。70才の現職市長を相手に大健闘しました。その堀さんがゲストハウスMASAGO（まさご）さんを視察に来るといので、堀さんが考える地域づくりのお話をお聞きしました。

編集者↓江別市議↓ 江別市長選に出馬

堀さんはまだ江別市会議員になる前に、浦河にいられてわが家に泊まっていたことがあります。面白い若者だとは思ったけれど、市会議員に立候補するとはまったく予想できませんでした。ビックリしましたし、2票差で当選したときもビックリしました。

議員になられてからの堀さんのこと、おぼえていることがひとつあります。堀さんがインターネット上で、ある地域づくりコンサルタントを痛烈に批判したのです。そのコンサルタント氏は界限では有名な方で、本も何冊も出しています。その方を堀さんは「あなたはウソをついている」と批判しました。あなたホントに現場で取材しているの？机の前で考えをひねり出しているんじゃないの？という批判でした。今から思うと、生身の人間をおろそかに扱う地域づくりの考えのように堀さんは感じたのではないかと、それが批判となったのではないかとわたしには思えます。

●市長になったら、先ずは 市役所を職員が働きやすい 職場にして、活躍しても らいたいと考えていた

さてこの日の囲む会ですが、堀さんはついでに間まで議員だったので、市の財政問題、将来設計、行政のあり方など話題が尽きません。そのなかで

たしに強く印象として残ったのは、堀さんの職員への見方でした。行政職員を批判的に見る視点はありがちだけれど、堀さんは明確にこういう考え方を否定しました。市長になったらまず取り組もうと思っていたことのひとつが、市役所を風通しの良い働きやすい職場にして、職員にもっと市民のために活躍してもらいたいと考えていたそうです。「政策を実行に移すのは人間です。とにかく「人」が大事」というのが堀さんの考えです。

江別はもともと船運で栄えた土地なのでそうです。農家もたくさんありました。レンガ造りの工場がありました。そこで働いて地域を支えてきた方々が堀さんにとつての「江別市民」の原点です。こういう旧来の江別市民の人たちと、札幌に通勤するニューカマー（大都市近郊の新規入居者の江別市民の人たちと、両方にとつて魅力ある市をつくらうとしているのだなと思いました。

●応援してくれた方々への 感謝の気持ち

お話を伺う中で、堀さんにとつて江別市とは「江別市民」のことなんだということが自然とわたしに伝わってきました。

また、落選はしたけれど選挙を手伝ってくれた方々と、表だっては応援できなかっただろう職員や旧友の方々への堀さんの言葉は、とても素晴らしいものでした。ほんとうに優しい。4年後はぜひ当選してほしいものです。そう思いました。

社長



GUEST HOUSE
MASAGO
北海道日高のたびぐらし

2018年1月オープン以来

世界22か国のお客様が宿泊！『ゲストハウスMASAGO』

まさご



小樽からご家族で宿泊していた横井さんと



まさごの久保直哉さんと

きること、ラーメン屋さん併設されていること、地域の廃材をリユースした内装が面白いことなどが好評な『ゲストハウスMASAGO』さん。共有スペースでのお酒やコーヒーの提供が始まり、バーベキューコーナーも設置されました。海外からのお客様がこんなに浦河に来ているなんてびっくり。銭湯やラーメン店で出会ったら、皆さんも楽しんで交流してくださいね♪

現在堀さんは、仲間たちと一緒に商店街密着型のゲストハウスの開業を準備中です。宿泊したまさごさんでは、宿泊客や経営者の方々と交流して情報交換をしていました。

利用しやすい価格で、あることや宿泊者は無料で銭湯に入浴できること、

「ルピナスの丘」のお花が見頃です



写真 Yuki ohmiya

「ルピナスの丘」が夏花の見頃を迎えています。今では年間を通じてたくさんの人が訪れる浦河の名所のひとつですね。平成7年、土地の持ち主である澤谷英勝さん・玲子さんご夫妻がたった3株のルピナスを植えたのが始まりです。「楽しいんだよ」と、今なお毎日、手をかけてお花を増やしていらっしゃいますね。お二人の夢のおかげで、わたしたちも幸せを分けていただいています。

「ルピナスの丘」をつくらう！

亡き母が残してくれた土地を形あるものに残したい。「ルピナスの丘」をつくって、町の人や浦河町を訪れた人たちに眺めてもらえたらいいなあという玲子さんと、「ルピナスに囲まれた展望台づくりを」という英勝さんの提案から始まった「ルピナスの丘」づくり。お二人が育ててきた夢の丘は、今では浦河を代表する景観地として多くの人に愛されています。

平成11年、当時取り組まれた町民ミュージカルにルピナスの丘の実話が織り込まれた脚本が完成。平成12年8月に、町民ミュージカル『ルピナスの丘』いつもこのころに太陽を〜が初上演されました。「ルピナスの丘」づくりはこのミュージカルの製作と歩みを同じくして進められていきました。雑草が生い茂っていた丘にユンボを入れ、段差があった丘にはダンブ50台分の土を入れたそうです。最初から今のようになだらかな斜面の丘ではなかったんですね。

1999年



ユンボの力で雑草の根切りをしました。その後、根が張ると困るイタドリは、親戚の人の助けも得て、土ひとつずつの中から拾い集めたそうです。

2013年6月



2001年6月



2000年6月



1999年



お借りした写真を見ると今に至るまでの経緯がわかります。まだ何も無い荒地に二人だけで苗を植えてスタートした丘、ミュージカルに出演した子どもたちと一緒にルピナスの種を植えた日。こうして、ルピナスの花が年を追うごとに増え、歳月をかけて今の「ルピナスの丘」が作られたんですね。

ルピナスの丘に咲いているお花は、「あげるよー」と町の皆さんから声を掛けていただけて分けてもらったものが多いそうです。移住体験をして帰った人の中にも、花の苗を送ってくれる人がいます。東京に住むお孫さんからも苗が届きました。数年前、90才を超えた方から、種から育てた9百株のルピナスの苗がプレゼントされました。この方は今でも毎年、苗を分けてくれているそうですよ。

「僕は土木作業だけ。家内は病気だね。（笑）朝早い時は5時には行つて来る〜出て出かけて、7時半頃かなあ、良かったよ〜帰って来るよ」

「ルピナスの丘」のおかげで

「ルピナスの丘のおかげで、僕らはどれほど元気をもらっているかわからないね。あの丘をつくったからこそ、人とのつながりが広がったんだよ。来ていただいた方に喜んでいただける喜

びは計り知れないものがあるね。花を通じて人と関わる喜びは、まるで副作用のないサプリメントかなあ。」



満面の笑顔の澤谷さんのお話を聞きながら、奥様と二人でいったいどれだけの時間と労力を費やしてきたのだろうと思つていたわたしに、澤谷さんこう言いました。

「楽しいんだよ。遊びなんだ。遊びだから、楽しいんだね。」

これからのことは？とお聞きすると、「先のこととは考えていないね。今の状態を維持しながら、やれるとこまでやって、ルピナスの丘で出会う人とのつながりを大事にしていこうよ。」と答えてくださいました。どうぞお元気で、これからもお二人で楽しんで下さいね。

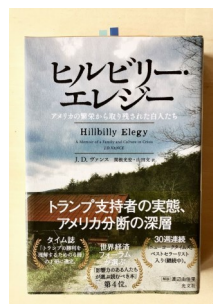


『ヒルビリー・エレジー』

アメリカの繁栄から取り残された白人たち』

J.D.ヴァンス(1984生~) 著 (株)光文社 発行

最近読んだ本の中より…



私は「さびついた工業地帯」と呼ばれる一帯に位置する、オハイオ州の鉄鋼業の町で貧しい子ども時代を送った。記憶をどれだけさかのぼってみても、当時から現在にいたるまで、その町は、仕事も希望も失われた地方としてあることに変わりはない。(本文より)

トランプ支持者を知るには この本を読め

3年前本書を上梓したとき、著者はまだ30才でした。そんな無名の若者の書いた「私の人生の偽りのない物語」が、アメリカでベストセラーとなりました。

その理由は、トランプ支持者を理解するにはこの本を読めと、アメリカで推奨されているからです。著者の育った州と近隣の州は圧倒的に白人が多く住む地域で、3年前の大統領選挙でトランプが勝利するのに大きな役割を果たしました。本書は、その「さびついた工業地帯」のきびしい暮らしの実態が赤裸々に描かれていて、既存の政治家たちをウソつき呼ばわりし、人種で人を差別するトランプに喝さいを送る白人たちの心情が分かります。

著者ヴァンス氏の子どもの時代は過酷です。母親はヘロイン中毒。どのボーイフレンドとも長続きしないので、少年にとっては父親像が定まらない。引越しましに次ぐ引越しましの日々。母親に、リハビリ機関に定期的に提出する尿を「お前のをちようだい」とせがまれる

少年の心情は、わたしには容易に想像が付きません。思春期になるとヴァンス少年も非行に走りそうになりますが、彼には彼を愛してくれる祖母がいました。このおばあちゃんの存在抜きに、現在の著者の成功はあり得ないでしょう。食事と、安全なベッドと、勉強に集中できる環境を彼に与えてくれました。読んでいて、アメリカだなぁと思うのは、このおばあちゃん私たちが想像するような、縫い物をしてアップルパイを焼いてくれる穏やかな老人じゃありませんよ。すぐに拳銃をぶっ放す。酔い潰れた夫には、ガソリンをかけて火を点けるんですから(殺していません、念のため)。まるで映画の世界です。でもヴァンス少年はこの祖母の庇護のおかげで超一流大学に行き、弁護士になることができました。

世界は フェア(公平)には できていない

イエール大学に入って、著者は理解します。事実として世界はフェア(公平)に出ていないと。学生のほとんど全てが富裕層とそれに

近い家庭の出身でした。どんな天才秀才が集まっているのかと思っていたけれど、ど田舎から奨励金枠でやって来た自分と何も変わらなと知りません。著者は恵まれた環境にいる彼らクラスメートより優秀な成績が取れます。そして大きな法律事務所が、イエールの1年目から学生を内定の勧誘に来るのです。

機会を奪われた 子どもたちの 存在を知る

自分はヒルビリー(田舎者の蔑称ですが、主にアパラチア山脈周辺に住むアイルランド系白人のこと)の一員であり、故郷と仲間を心から愛している。しかし彼らも変わらなければならぬ。他人のせいばかりはダメだ。と同時に、機会を奪われて育つ子どもたちを知ってほしいというのが、著者が本書を書いた動機でしょう。彼の思いは多くの人に届きました。イエールで著者を支えてくれたガールフレンドの話はいいですよ。パーティでの作法から何から馬鹿にしないで教えてくれた。当然ですが著者は恋に落ち、のちに妻となります。

社長



町の映画館・大黒座へ行こう！ 超話題作を上映中です

創業101年目を迎えた大黒座で話題作の上映が続いています。

亡くなられた樹木希林さんが出演した映画には、町内外からたくさんの方の入場者があつたそうです。人気があつた話題作、クイーンズの『ボヘミアン・ラプソディ』も盛況でした。映画館は日本中から姿を消していついて、つい最近も札幌の大きな施設が閉館。映画を愛する人からもずいぶん惜しまれていましたね。そんな中、映画ファンにとっても魅力的な作品を上映する大黒座とあつて、ここで映画を見るために浦河に来る人がけつこういるそうですよ。気軽に見に行ける私たちはしあわせ者だなあと思っています。さて、話題作の上映が続きます。気になる映画があつたら、ぜひ足を運んでみてください。



『グリーンブック』
6/16(日)~7/6(土)
1日3回上映
10時・13時30分・19時



フライパンひとつで！



ガスを使っておいしくクッキング

麻婆野菜炒め

若者たちのランチはボリュームが大事です。野菜もたくさん食べてもらいたいので、今回はこのメニューに決定♪なすの他にピーマンとパプリカも入れるのでカラフルですね。麻婆豆腐、麻婆なす、麻婆春雨と一緒に家庭で作る定番メニューに加えてもいいかな～^^



大ぶりに切った野菜は食べごたえがありますよ

●材料（2～3人前）

- ・豚ひき肉 … 150g
- ・なす（大きめの乱切り）… 3個
- ・ピーマン（一口大に切る）… 1個
- ・パプリカ（一口大に切る）… お好みの色を適量
- ・しょうが・にんにくのみじん切り … 各1片分
- ・長ネギのみじん切り … 1片分
- ・豆板醤 … 大さじ1/2

合わせ調味料

- ☆甜麺醬 … 大さじ1
- ☆醬油 … 大さじ1/2
- ☆砂糖 … 小さじ1/2
- ☆中華スープ … 1カップ
- ☆塩、こしょう … 各少々



- ・水溶き片栗粉（片栗粉大さじ1・水大さじ2）
- ・サラダ油、ごま油 … 適量

●作り方 参照 レタスクラブニュースのレシピ

- 1、フライパンにサラダ油大さじ3～4を熱してなすを炒め、焼き色がついたらピーマンとパプリカを加えて炒め、取り出して余分な油をきる。
- 2、合わせ調味料の材料を合わせる。
- 3、フライパンにサラダ油大さじ1を熱してひき肉を炒め、肉がバラバラになったら豆板醤を加えてよく炒め、しょうがとにんにくを加えて炒め合わせ調味料を加えて煮立てる。
- 4、3に野菜とネギを加えてひと煮たちさせ、水溶き片栗粉を加えてとろみをつけ、仕上げにごま油小さじ2を回し入れて完成！



みんな気がついてなかったけど、実は長ネギを加えるのを忘れてました。ハハハ！



こんなにたくさん作るのは久しぶりですね～

今日の料理はバッチリで～す！

みなさんも、ガスを使って楽しくお料理してくださいね♪

^^みんなで食べるとおいしいに決まっています

「余裕がないのはだめです！今月こそ、みんながお腹をすかせて戻って来る前に出来上がらせて、洗い物とかも終わらせていきましょう！」とアイドルさっちゃんに叱咤激励され、「はい！」と答えるマックス。返事だけでなく、今回はお褒めしましたよ～。

ほ～ら、味もボリュームも満足のランチになりました。ちょっと残念だったのは、さっちゃんの手作り餃子を上手に焼けなかった分があったこと。フライパンのせいにしていただけでホントかな？みんなが完食でしたが、ばつふるさんも元気になって良かったね。おいしい？って聞いたマックスに、真っ先に「うん！」って答えてくれたのが鈴木さんだったのも嬉しかったなあ～^^



今日は大丈夫みたいで良かったなあ～



若者たちのごはんはもちろん大盛り！



おれは、もう食べる

社長のちよつと長い「ワム

「あんたも泣いたんだ」

年に一度の出張に行ってきました。出張の帰りの飛行機が少々揺れたのですが、着陸するまでの15分くらいの間、小さな子どもが泣き続けていました。そのりや怖いですが、泣くというよりは絶叫してました。その間わたしは、この子どものお母さんは気がでないだろうなと思っていました。信じがたい話ですが、最近はその子どもの親（主に母親）にたいして「静かにさせる」とか「連れだせ」という人間がけつこういると聞きます。小学生が傍若無人に振る舞っているのを叱るのは理解できますが、幼児が泣いたりお腹すいたーと駄々をこねるのは仕方ないでしょう。この日は幸いにもそんな乗客はいなくて飛行機が着陸すると子どもは自然と泣き止みました。

浦河にもどった翌日、来客がありました。旅の話しながら、この飛行機で泣き叫んでいた子どもの話になりました。最近では母親にからむ大人がいるらしいけど、世の中どうなつてしまったんだろーと言つと、妻のいとこのT子さんがわたしもこんなことがあったのよと話し始めました。



T子さんは札幌市からほど遠くないマチに住んでいます。所用があつて、朝のJR線に乗りました。乗つてまもなく電車は臨時停車してしまいました。

電車はなかなか動き始めませんでした。が、そのうち事故がありもうしばらく発車できない、ご迷惑をおかけします云々というアナウンスが流れました。それを聞いた通勤途中のサラリーマン諸氏が一斉に電話を始めました。職場や取引先に連絡を入れるのでしょうか。

すると、その車内の变化に驚いたのか小さな子どもが泣き始めました。お母さんは気が気ではなかったでしょう。電話の邪魔だと言われかねません。あやしても泣き止むどころか泣き声は大きくなるばかりです。ついに年配の男性に言われました。「うるせえんだよ。静かにさせるや。」静かにしてほしいと一番思っているのは、母親なんですよ。そういうことに思い至らないのが日本のオヤジたちです。見かねたT子さんは男性に向かって思わずこう言いました。

「あんたも泣いたんだよっ!」

面食らっている男性を指さして、あんたも泣いたんだよ、子どもは泣くのが仕事なんだよと言つと、同じことを思っていたであろう女性たちが母親に「大変だねー」と声をかけるなか、小さな子がアンパンマンのおもちやを持つてきて見せた途端に子どもは泣き止んだそうです。

「まあ最近ではヘンな奴いるよねー」と話すT子さんに、ところで文句言つてた男性はどうしたの?と聞くと、「あー、なんか捨て台詞を言つて、となりの車両に逃げてつたわ」と言いました。それを聞いてちよつぱり男性に同情もしましたが、良くなかつたのはこの男性です。反省してもらいましょう。



さのばわふる日記



先月号の反響が多数あり、ご心配をいただき大変恐縮しておりますが、私は至つて元氣です。

なぜ救急車に乗つたか、てつとり早く言つと『バリウムが固まり腹痛により緊急入院!』と言う訳でした。バリウムが完全に出る前に3日間ガンガンと食べ放題飲み放題。上からドンドン詰め込んで、さく帰ろうかとした日曜日に腹痛。滅多に腹痛になることのない私。痛みは増すばかり。「お願い、病院に連れて行つて」と日曜診療している近くの病院を自分で探しナビに入れ向かつてもらつた。歩くのも大変で院内では車イス。かなり重症だったのか優先的に対処してもらい先生曰く、「外科的処置が必要なので近くの大きい病院に救急車搬送します。」

げげっ! 外科的! お腹を切つたりしないよな〜と心で思いながら救急車に乗せられ違う病院へ。体はガクガクと自分では抑えられないくらい震えがして、あれっ? これつて本当にどこか変だよな〜。どんな処置をされるの? などなど頭の中ではあれこれと思い巡らす私。処置室に移され先生の処置が始まつたと思つたら、いつの間にか大腸カメラが挿入され、「いま、水を入れて刺激を与えていますからね。すぐ出て来になりますよ。」私「なんとなくもよおしてきましたが、ここで出ちゃつたらどうするんですか?」先生「出しててもかまいませんよ。」いやいや、そんな訳にはいかない! ベットから起き上がり歩けずいた私なのに前に立つている看護師さんをよけ、「トイレどこですか?」と走る。ここでスツキリと出てくれたら入院にならず帰れたはずが:先生曰く「どれだけ美味しいものを食べたんですか?」と苦笑い。



この後の9日間の入院生活は次号につづく。

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理

廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

夏季期間(4月~9月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:15~5:15 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス)

発行部数 3,700部

【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com

【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください

〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3

TEL 0146-22-5123